

デジタル活用に取り組まれている全ての皆さまへ

組織で活かすデジタル人材
～ iCDによる育成と活用 ～

12月13日 火 13:00～17:00

12月14日 水 13:00～17:00

オンライン開催
(アーカイブ配信も実施予定)

現代の組織において、「最新のデジタル技術を活用して、企業に新たな価値を生み出す人材」であるデジタル人材をどのように確保・育成し、活用していくかは大きな課題です。
本カンファレンスでは、さまざまな立場や視点から多彩なテーマを準備し、多面的にデジタル人材を考えていきます。

セッションの内容

1セッションは 45分（講演30分＋質疑5分＋休憩10分）で設定しました。
当日に見逃されたセッションについては、後日にアーカイブ配信にて視聴可能とする予定です。

	12月13日（火）	12月14日（水）
13:00 ～	① 開催に先立って 開催趣旨・視聴方法等のご説明	⑩ 開催に先立って セッション特長・トピックス等のご紹介
13:30 ～	② 基調講演 12月13日（火） 講演予定者欄 参照（後述）	⑪ 基調講演 12月14日（水） 講演予定者欄 参照（後述）
14:15 ～		
15:00 ～		
15:45 ～		
16:30 ～	⑨ iCD協会からのお知らせ 代表的企業のiCD活用事例等	⑱ iCD協会からのお知らせ カンファレンスの振り返り等

13:30～



衆議院議員

牧島かれん氏

《所属/役職・プロフィール》

前デジタル大臣
(行政改革・規制改革担当大臣)
自民党デジタル社会推進本部 幹事長

1976年11月1日、神奈川県生まれ。博士(行政学) 国際基督教大学卒、米国ジョージ・ワシントン大学院修了(修士号取得)
2012年に初当選を果たし、現在4期目。
2021年10月～2022年8月まで、当時の最年少閣僚として2代目のデジタル大臣に就任。行政改革、規制改革、サイバーセキュリティ、DFFTも担当。

《ご講演内容》

日本のデジタル政策について
～デジタル大臣としての10ヵ月を振り返り～
デジタル庁の立ち上げから、第2代大臣としての10ヵ月を振り返りながら、どのような組織づくり、政策づくりを行ってきたのか。G7などを通して、日本のDXは国際社会においてどのように捉えられていたのか、現場での様子をお伝えする。

14:15～

株式会社
NTTデータ経営研究所

三谷慶一郎氏

《所属/役職・プロフィール》

執行役員 エグゼクティブ・コンサルタント

情報戦略およびサービスデザインを専門とする。博士(経営学)。武蔵野大学国際総合研究所客員教授、情報社会学会理事、経営情報学会監事、日本システム監査人協会副会長。経済産業省産業構造審議会委員、総務省情報通信審議会構成員等を歴任。近年は、経済産業省の「デジタル産業への変革に向けた研究会」座長、「デジタル時代の人材政策に関する検討会」座長、「DX銘柄2022」評価委員を務めた。

《ご講演内容》

日本企業が国際競争力を取り戻すためには、新たな収益を生み出す「デジタルビジネス創造」に舵を取る必要がある。そのためには、従前から日本企業が持つイノベーションを阻害する柵(しがらみ)を捨て去らなければならない。本講演では、日本企業が目指すべき「真のDX」の姿を提示するとともに、そのために必要となるデジタル人材像と彼らを活躍させるための環境について述べていく。

15:00～

一般社団法人
スキルマネジメント協会

有馬仁志氏

《所属/役職・プロフィール》

理事

1982年国内機器メーカー技術者、WindRiverSystems社、Montavista Software Japan社、2006年dSPACE Japan社の代表取締役社長を経て、2015年有馬マネジメントデザイン株式会社を設立し代表取締役を務める。一般社団法人スキルマネジメント協会理事、長崎総合科学大学大学院客員教授、九州工業大学情報工学部客員教授を務める。

《ご講演内容》

SMA(スキルマネジメント協会)では、イノベーションを起こすための役割としてDXビジネス創造人材(DX ビジネスプロデューサー)を定義しスキルの明確化とその人材育成を目的とした養成講座を開催している。iCD協会の提唱するWings IIの「ビジネスディベロップ」の領域とSMAのビジネスプロデューサーの間に共通性があるため、スキル定義とそのスキルを獲得する教育について連携を図る。

15:45～

一般社団法人
ソフトウェア協会(SAJ)

荻原紀男氏

《所属/役職・プロフィール》

名誉会長

1958年 生まれ。中央大学商学部会計学科卒業
1996年 荻原公認会計士税理士事務所開業
2000年 (株)豆蔵(ITコンサルティング事業)創業
2003年 税理士法人プログレス開業、代表社員(現任)
2014年 (一社)ソフトウェア協会(SAJ)会長就任
2016年 日本IT団体連盟 理事・幹事長に就任(現任)
2020年 (株)豆蔵K2TOPホールディングス設立、同社代表取締役社長就任(現任)
2022年 (一社)ソフトウェア協会 名誉会長就任(現任)
公認会計士、ファウンダー、業界団体元代表として、様々な視点をもって活動を行っております。

《ご講演内容》

これから重要となるデジタル政策と人材育成
1. ジャパンクラウドの重要性とその組成について
2. 政府セキュリティ組織の統合について
3. セキュリティ人材の戦略的育成について
4. iCDのポータブル化による人材の流動化について

14:15～

一般社団法人
IT検証産業協会 (IVIA)

古屋繁之氏

《所属/役職・プロフィール》

副会長

ソーバル株式会社執行役員
アンドールシステムサポート株式会社 取締役社長
一社)IT検証産業協会 (IVIA) 副会長
一社)組込みシステム技術協会 (JASA) 理事
ハンディターミナル、プリンタ、デジタルカメラなどのファームウェア開発や、自動テストシステム開発に従事。品質評価事業部長として、長年テスト事業に携わってきた。

《ご講演内容》

IT検証産業協会 (IVIA) は、2022年6月第三者検証テストタスクを発表しました。ソフトウェア開発の内製化も注目され、企業における品質確保は重要事項であり、テストエンジニアの育成は急務となっています。本セミナーでは、第三者検証テストタスクのご紹介と共に、ソフトウェアテストのキホンからDX時代に求められるテスト、iCDを活用したテストエンジニアの育成に関しご紹介していきます。

15:00～

一般社団法人
ITキャリア推進協会

本原和哉氏

《所属/役職・プロフィール》

専務理事・代表理事

広島県出身。香川大学経済学部経済学科卒業。カゴメ㈱にて6年勤務。代理店事業にて独立するも生計がたたず、昼間働き、深夜倉庫業務やガードマン等、様々な仕事をして生計を立てる。その中、㈱フレックスアイ多田社長に拾われ、様々な業務を経験。2014年同社キャリアナビ事業部設立、2017年㈱キャリアナビ(現アントレプレナーサポート㈱)を創立 代表取締役CEOに就任、2017年(一社)ITキャリア推進協会を創立 専務理事・代表理事に就任。

《ご講演内容》

ITキャリア推進協会は新しく厳しい時代を生き抜く為に、グローバルな視点を持ち、自ら感じ、考え、行動し、自ら価値を創り出すことができる「日本を元気に強くして世界で活躍する人」を一人でも多く創る事で社会に貢献する。この事を目的として創立した協会です。この度は今からの時代の『希望』を創る人財を育成する為に何が必要なのか？そしてそれに伴うiCDとiCP(ITキャリアパスポート)についてお話をさせていただきます。

15:45～

特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会

野村真実氏

《所属/役職・プロフィール》

会長

日本ユニシス(現BIPROGY)にて17年、金融機関向けSE、PM業務に従事後、社内ベンチャー第1号案件で3年間新サービスを企画・実行。
独立後15年、中小企業の現場で経営と情報化を支援。
2022年6月より現職。

《ご講演内容》

DX時代が到来し、組織変革のためにデジタル化を進める企業が後を絶ちません。ただイノベーションの風土が整っていない企業にとっては、デジタル化を進めても変革を起こすことは困難であり、形式的なデジタル化に留まるケースが多いと言われています。その組織変革に挑戦し、顧客価値創造を続けるDNAを持つ企業へと生まれ変わるための組織開発と人材開発について、お話いたします。

13:30～



経済産業省

平山利幸氏

《所属/役職・プロフィール》

商務情報政策局 情報技術利用促進課
デジタル人材政策企画調整官

2002年のITスキル標準(ITSS)策定は構想段階から担当。以降、iCD他、各スキル標準を担当。2016年より情報処理推進機構(IPA)に向。データサイエンスなど新たな領域の指針となるITSS+を整備。2020年より現職。情報処理技術者試験制度、デジタル時代のスキル指針などを担当。

《ご講演内容》

現在、DX推進の機運が社会全体で高まっているところ、DXの現場ではデジタル人材の不足など様々な課題に直面しており、結果として日本全体がDXによって経済の好循環に繋がるシナジーを生み出しているとは言えない状況にあります。本セッションでは、スキル標準の普及を推進した経験を踏まえ、日本のDX推進・デジタル人材の現状を概観した上で、日本全体でDXを推進していくための政策の方向性についてご紹介いたします。

14:15～



厚生労働省

和田山純一氏

《所属/役職・プロフィール》

人材開発統括官
企業内人材開発支援室

1991年旧労働省に入省
外国人雇用対策、能力開発支援、若年者雇用対策、予算経理などに従事

《ご講演内容》

【人材開発支援助成金「人への投資促進コース」】

人材開発支援助成金とは、企業が従業員に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

今般、人への投資を抜本的に強化する方針の下、デジタル人材育成の強化等を行うため本助成金に「人への投資促進コース」を創設しました。

厚生労働省では、本助成金が多く企業の皆さまにご利用いただきたいと考えております。

15:00～

独立行政法人
情報処理推進機構(IPA)

宇野東平氏

《所属/役職・プロフィール》

社会基盤センター 人材プラットフォーム部

1986年IT企業に入社。民間企業向けソリューションビジネスの営業、マーケティング部門を経て、コンサルティング業務に従事。企業IT部門の組織・マネジメント変革やIT人材育成等コンサルティングを担当。
2022年、情報処理推進機構に入構し、IT人材の適材化・適所化を目指した調査、研究、施策立案・推進の業務を担当。

《ご講演内容》

IPAで経年実施しています「デジタル時代のスキル変革等に関する調査」の2021年度版の結果から、調査結果のポイントをご説明するとともに、「学び」に対する個人と組織の取組み実態や意識変化などを中心にご報告します。
併せて、IPAで推進しています「学び」をご支援するツールや諸施策をご紹介致します。

15:45～

日本IT団体連盟
IT教育人材育成委員会

田中恵子氏

《所属/役職・プロフィール》

京都情報大学院大学 助教

京都情報大学院大学助教。国際大学GLOCOM 客員研究員、日本IT団体連盟IT教育・人材育成委員会事務局長代理。上智大学文学士(新聞)京都情報大学院大学応用情報技術研究科修了、情報技術修士(専門職)。広告プランナー、京都コンピュータ学院講師、英字ニュース編集、ベンチャー企業広報を経て現職。

《ご講演内容》

日本IT団体連盟IT教育人材育成委員会では、学修成果と実際の業務との関係を明確にするため、人材像や教育・訓練の講座情報と、iCDに定義されたタスク・スキルとを対応させ、IT人材の確保に直結する循環型のリカレント教育をいかに支援するかについて、検討を進めてきた。そこで、①人材要件の定義、②教育・訓練の整備、③資格・受講証明の3つの切り口から委員会のビジョンと活動について、国際的な動向を踏まえ、紹介する。

14:15～



有限会社 トップリバー

嶋崎田 鶴子氏

《所属/役職・プロフィール》

代表取締役

夫とともに農業法人を立ち上げ、経理及び販売管理部門についてはパソコン導入を進め、オリジナルシステムの開発、生産現場では栽培管理システムの開発を進めた。その成果をもとに、2019年から始まったスマート農業加速化事業の採択を受けて、農業界における人材育成にIT業界で普及していたiCDを利用することが農業界の発展に結びつくと考え、2020年より、有限会社トップリバーにおいて農業版iCDを導入した。

《ご講演内容》

有限会社トップリバーで行っている、栽培管理データと経営管理データの蓄積方法と、それらを使ってより安定的な農業経営を行うための人材育成手法について。なぜ農業版iCDを使って組織として成長する仕組みを構築しようと思ったか。勘と経験の技術継承であった農業界で、各工程をタスク化しその理解度及び習熟度を把握し人材育成を行う、iCDを導入するまでの流れと、今後農業界での可能性について考えていきたいと思います。

15:00～



富士通株式会社

山田 竜輔氏

《所属/役職・プロフィール》

Employee Success本部 Skill Ownership Office シニアディレクター

富士通入社後10年間は営業系の制度設計・運用や契約交渉絡みの業務を行い、その後SI商談の契約書絡みのリスク排除に向けた業務に従事。そこで、リスクを未然に防ぐというアプローチが大切と考え、人材育成業務へシフト。SE系、デジタル系の職種固有の育成施策に加え、全社育成施策の様々な制度やシステム等の企画・立案、運用を実施。

《ご講演内容》

DX企業への変革が求められる今、ビジネスをドライブするための一経営資源である「人」の育成を通じて「社会のイノベーションに貢献する」ことをテーマに、社員の自律的なキャリア形成や成長を支援する様々な施策に取り組んでいます。「スキルを引き出し発揮させる」「適所適材の実現」「評価のフィードバック」「フィードバックに基づいた更なる成長」この好循環を回すことで社会課題解決に貢献できる人材を育成しビジネス貢献を実現します。今回はその取り組みについて弊社の事例を紹介します。

15:45～



株式会社リアライズ

海老原 吉晶氏

《所属/役職・プロフィール》

マーケティング・営業本部 シニア・ディレクター

‘89年 立石電気株式会社(現オムロン)に入社、情シス部門にて基幹インフラ運用、BI導入、グローバル情報化企画策定、CRM構築、デジタルマーケティング推進などを歴任。‘21年より現職。

‘18年～ JUASデータエクスペリエンス研究会 研究部会長。

著書に「経営のためのデータマネジメント入門」(中央経済)、「データ経営が日本を変える！」(JUAS出版)がある。

《ご講演内容》

かつてITを駆使して世界をリードしてきた日本が、今日では国際競争力が低下の一途を辿っている。JUASシステム高度化プロジェクトでは、この状況から抜け出し日本が再び力を取り戻すためのシステムと経営のあり方を書籍「データ経営が日本を変える！」にまとめた。本セッションでは、システムの高度化と、そこに至る方法論とIT部門に求められる役割とスキルを解説する。